

## 期中の評価個表

事業名	国有林直轄治山事業	事業計画期間	平成4年度～平成18年度
事業実施地区名 (都道府県名)	大白川(おおしらかわ) (岐阜県)	事業実施主体	中部森林管理局名古屋分局 岐阜森林管理署 荘川事務所
事業の概要・目的	<p>当地区は、大野郡白川村南西部に位置し、豪雨等により大規模な崩壊地の発生及び溪岸侵食により流出した土砂が異常堆積して降雨の度に流出している。このため、山腹崩壊地の拡大防止及び溪岸侵食の抑止を図り、溪床に堆積している不安定土砂の流出を抑止することにより、人家・県道等の保全及び保安林機能の増進を目的に本事業に着手した。</p> <p>・主な事業内容 山腹工 2.85 ha 溪間工 5基</p>		
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>事業着手当時と現在において要因に大きな変化はないが、現時点における費用対効果分析結果は以下のとおりである。</p> <p>総費用(C) 1,545,606千円 総便益(B) 6,753,582千円 分析結果(B/C) 4.37</p>		
森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化	<p>当地区は、火山泥流の堆積層からなる脆弱な地質構造であり、融雪及び豪雨の都度、溪岸侵食及び山腹斜面の崩壊により土砂の流出が発生していた。周辺の社会情勢については特段の変化はない。</p> <p>保全対象：人家156戸 旅館5戸 民宿3戸 県道 農地</p>		
事業の進捗状況	<p>山腹崩壊地については、崩壊地の拡大防止及び復旧整備のため土留工の設置、草・木本類による緑化工を実施、溪流については、不安定堆積土砂の流出防止及び溪岸侵食の防止を図るため治山ダムの整備を進めており、平成15年度までの事業進捗率は88%(事業費)の見込みである。</p>		
関連事業の整備状況	該当なし。		
地元(受益者、地方公共団体等)の意向	<p>当地区は地形が急峻で崩壊地が多く、融雪及び豪雨時には多量の土砂が流下し河床を上昇させているため、地域住民の生活環境の安定や防災機能を高める上で継続して治山事業を実施することを要望する。(白川村) 事業の継続を要望する。(岐阜県)</p>		
事業コスト縮減等の可能性	<p>溪床に堆積した大転石や雑石等の現地発生材料を利用した工法を採用するなどにより事業費の低減を図っており、今後も一層のコスト縮減に努めることとしている。</p>		
代替案の実現可能性	該当なし。		
第三者委員会の意見	<p>事業の進捗により荒廃地の復旧整備は進んできたが、依然として溪床に不安定土砂が堆積しており、下流に被害を発生させるおそれがあること、地元の強い要望もあることから事業を継続実施することが望ましい。</p> <p>なお、費用対効果の中身とコスト縮減等については、一般の者にも分かりやすくPRできる手法を今後検討することが望ましい。</p>		
評価結果及び実施方針	<p>・必要性： 溪床に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば溪岸侵食の拡大等が懸念されること、地元からも保安林機能の発揮が期待されていることから、下流域の保全のため当事業の実施が必要である。</p> <p>・有効性： 事業の実施により溪床に堆積する土砂の安定など下流域の保全等が図られることから、事業の有効性は認められる。</p> <p>・効率性： 対策工の計画に当たっては、現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で検討されており、また、事業実施にあたってはコスト縮減に努めていることから、効率性は認められる。</p> <p>上記 から の各項目及び各観点からの評価、並びに第三者委員会の意見を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、事業の継続実施が妥当と判断される。</p> <p>・実施方針：継続</p>		